

日本家族性腫瘍学会 2016 年度評議員会 議事録

日 時：2016 年 6 月 2 日（木） 17:00～18:00

場 所：ひめぎんホール 第 6 会議室

議 長：富田理事長

参加者数：38 名（委任状提出 23 名）

議 事：

議長の富田理事長より開会の挨拶の後、第 22 回学術集会 大住会長より挨拶があった。

報告事項：

1. 田村理事より 2015 年度事業報告および庶務報告
2. 各種委員会報告
 - ①田村和朗理事より総務委員会報告。会員登録データに未登録箇所などがあるため、今後充実をはかりたい。
 - ②財務委員会は特になし。
 - ③石川理事より将来検討委員会報告。LFS 部会が本稼働をしている。また新企画として中長期的なビジョンで公的資金の獲得を検討委していきたい。
 - ④会則委員会は特になし。
 - ⑤菅野理事より専門医・FCC 制度委員会報告。FCC 申請についての報告および会計については、学会本体とあわせ、学会の監査を受けた旨報告があった。
 - ⑥石田理事より編集委員会報告。6 月中には電子ジャーナルとして J-stage にて公開予定。
 - ⑦三木理事より学術・教育委員会報告。学術集会での教育セミナーの開催を定着させていきたい。
 - ⑧武田理事より倫理委員会報告。倫理規定を今後整えていくこととする。
 - ⑨大住理事よりガイドライン委員会報告。ガイドラインの改訂作業を行っている旨説明があった。
 - ⑩大住理事より利益相反（COI）委員会報告。指針案について説明。他学会のものも参考に作成を進めている旨、報告があった。また編集委員会も同じ規定を使用する予定。
 - ⑪松原理事より国際委員会報告。トラベルグラントへの応募がまだないため、期間延長して受付を行っているので、応募いただきたい旨、案内があった。
 - ⑫田村智英子理事より、遺伝カウンセリング委員会報告。遺伝カウンセリングに関する資料収集を継続して行っている旨報告があった。
 - ⑬広報委員会は特になし。
3. 第 23 回学術集会 櫻井会長より開催報告があった。2017 年 8 月 4 日・5 日に札幌芸文館にて開催予定。各種会議は 8 月 3 日の予定。
4. 田村和朗理事より遺伝性腫瘍研究グループ連絡協議会報告があった。
5. 田村智英子理事より Li-Fraumeni 症候群 (LFS) 部会報告があった。
6. 菅野理事より第 19 回前期家族性腫瘍セミナー準備報告があった。

審議事項：

1. 青木理事より 2015 年度収支決算報告の提示・説明があり、数間・執印両監事により監査が行われた旨、報告され、承認を受けた。
2. 選挙結果について報告があり、新理事・監事について提示・説明があり、承認された。
3. 富田理事長より再任のご挨拶があった。今期理事会の方向性として下記が示された。
 - ・一般社団法人化

- ・日本家族性腫瘍学会専門医制度の確立。2年を目処に立ち上げる方向とする。
- ・学会体制として、副理事長を2名置き、各委員会も担当理事のもと、委員長、または委員長・副委員長を置く。

また、理事長推薦理事について紹介・説明があり、承認された。

4. 各委員会委員長紹介。各委員会構成については決定後ホームページにて案内予定。
5. 一般社団法人 定款案・細則案について
学会法人化について説明があり、会則委員会 鈴木理事より法人化に伴う定款案・細則案について提示・説明があり、承認された。
本承認をもって、日本家族性腫瘍学会は一般社団法人日本家族性腫瘍学会となり、学会公認会計士として、奥村税理士事務所の奥村眞吾先生に担当いただくこととした。
6. 青木理事より 2016 年度予算が提示され、承認された。
7. 第 24 回（2018 年）学術集会会長候補について互選の結果、尼崎中央病院 松原長秀先生、FMC 東京クリニック 田村智英子先生が推薦され、承認された。
8. 2 名の新評議員の推薦があり、承認された。